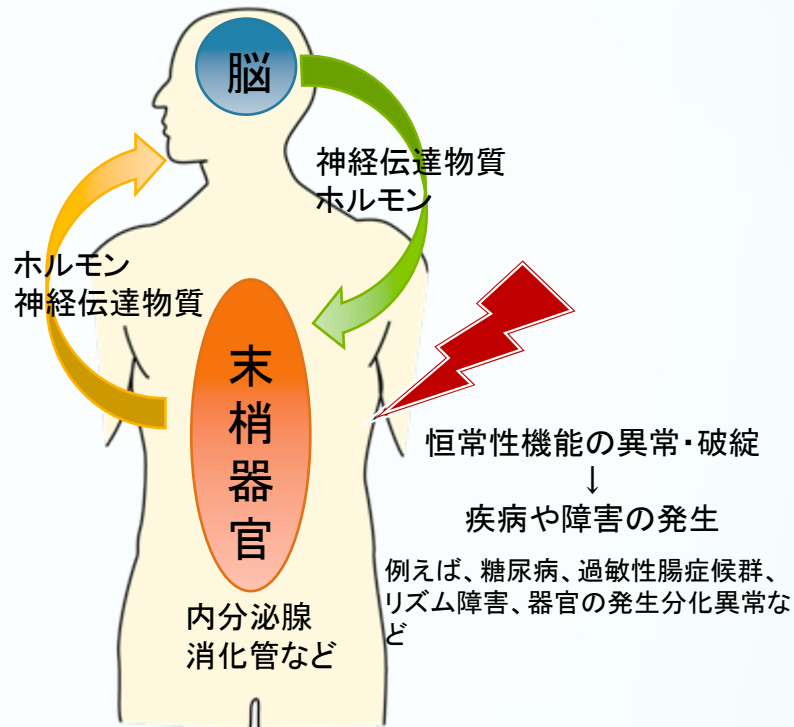


恒常性(ホメオスタシス)とは、生体の内部や外部の環境因子の変化に関わらず生理機能が一定に保たれる性質のことであり、生物にとって極めて重要なものです。例えば、動物の生理機能の恒常性は、神経系、内分泌系、消化器系など、様々な器官系の機能連関によって維持されています。

バイオホメオスタシス研究センターでは、生物の恒常性機能を司る器官系の発生・発達および恒常性を維持するメカニズムの解明を目指して研究を進めています。



生物リズム
学習と行動
器官の自律性と協調性

生命の成り立ちや恒常性を有した生理現象を理解する基礎研究

性分化
器官の発生・発達
ホルモンの分泌機構と作用機序

緻密に制御される生命現象のメカニズムを解き明かす
 恒常性機能の破綻に起因する病態の理解
 若手研究者の育成と研究の継承

おもな組織メンバー
 塚原伸治(代表)、坂井貴文、弥益恭、小林哲也、足立明人、古舘宏之、川村哲規
 (理工学研究科 生命科学部門)